



MINISTRY OF EDUCATION, SINGAPORE
in collaboration with
CAMBRIDGE INTERNATIONAL EDUCATION
General Certificate of Education Advanced Level

JAPANESE

9737/02

Paper 2 Reading

For examination from 2026

SPECIMEN INSERT

1 hour 30 minutes

INFORMATION

- This insert contains the reading passages.
- You may annotate this insert and use the blank spaces for planning. **Do not write your answers** on the insert.



This document has **8** pages. Any blank pages are indicated.



Singapore Examinations and Assessment Board



CAMBRIDGE
International Education

問題 1-6

それぞれの質問 (1-6) について、正しい答え (A、B、C、D) を1つ選び、マークシートに記入しなさい。

職場における心の休養

平成13年創立の高級家具メーカー、ノワイエでは、メンタルヘルスの重要性に着目し、設立以来、全社員に定期診断を義務づけているほか、平成18年には独自の「オンライン心の相談室」を設置し、その翌年からは24時間体制で対応している。

また、心身両面での過労防止のため、長期間休まず勤務することを禁じており、4か月が経過した時点で人事部が数日間の休養を提案する。半年になると出勤停止の警告を受け、ひと月放置すると自動的に1週間勤務できなくなるという。

オフィスには一人用の部屋が8室あり、従業員は、隔週で勤務時間中に30分間、PCや携帯をデスクに残してそこにこもり、のんびりと過ごす。緊張を和らげる効果のある音楽が流れるこの休憩室は「ホッとルーム」と呼ばれている。

社長の河合^{かわい}さんは、次のように語る。

「我が社の目標は、美しい家具を通して、購入した方の生活の質が向上するようお手伝いすることです。緊張の連続で精神的に疲労し、暗い表情でお客様に接しては、心が豊かになるような体験を届けられるはずがありません。」

ただし、従業員の反応はまちまちのようだ。

デザイナーの倉田^{くらた}さん：「仕事の手を止めるには意外に勇気がいるので、規則で決められているのは歓迎ですよ。納入期限が守れるか不安になったりしますが、ひと呼吸置くと頭がすっきりして、仕事がはかどるんです。」

営業部の林さん：「毎日忙しくて当然だから、ストレスをためていても、自覚は全くないんです。休む時間を作るための仕事の調整が煩わしく、かえってストレスにつながります。会社には感謝していますが、強制されたくはないですね。」

問題 7-12

6つの部分が抜き取られています。

それぞれの部分 (7-12) を埋めるのに適切と思われるテキスト (A-H) を1つ選んで、マークシートに記入しなさい。使う必要のないテキストが2つあります。

雪の朝の戦い

「行け！」

「早く壊してしまえ！」

雪で覆われた校庭に若く元気な声が響いています。

福島県にある常葉中学校では、毎年2月の第1土曜日、夜明けとともに「白竹合戦」が始まります。まず、全校生徒がふた組に分かれ、それぞれの基地に木の枝でできた高さ3メートルの人形を立てます。...7...と、そのチームの勝利となります。戦国時代にこの地方で起きた領土争いからヒントを得た伝統の行事です。

「白竹」という名前が示すとおり、以前は...8...という勇ましい行事でしたが、生徒が負傷することが何度かあり、90年代に今のルールに変更されました。しかし、生徒の親からは、今も心配の声が絶えません。

人間相手ではないとはいえ、子供が敵を攻撃する様子を見て、抵抗を覚える人が多いのです。白竹合戦をゲームにして、...9...という案もありますが、「伝統の灯が消えてしまう」として反対する人も少なくありません。

生徒同士を競わせること自体に問題意識を持つ親もいます。敗戦チームの生徒が...10...ことがあってはならないというわけです。学校側も、これが先進的な考えであるとして賛成しています。そこで、行事に出ることを全員に義務づけるかわりに、各自が...11...ようにすることを提案しましたが、「むしろ廃止すべきだ」という激しい意見も聞かれます。

また、子供の健康に不安を覚える家族もいます。特に3年生の場合、高校受験を控えた大切なこの時期、全身雪まみれになって...12...恐れがあるからです。しかし、戦国時代の争いが2月の雪の朝に行われたという記録があり、学校としては開催日程を変えることには消極的です。

常葉中学校では、来月、この問題についての討論会が予定されています。

問題 13–20

おおみね

大峰村に住む4人の高校生が、村における文化交流について意見を述べています。

下のそれぞれの文 (13–20) は、どの人 (A、B、C、D) の話の内容と一致しますか。正しい答えを1つ選び、マークシートに記入しなさい。

村における文化交流

A かりな 花里奈

ここ数年、他の地方から引っ越してくる家族が増えました。郷里の料理など、お互いの文化を紹介して、楽しくお付き合いしています。以前は地元の人ばかりで、まるで塀に囲まれているような窮屈さがありましたが、今は視野が広くなりました。この村特産の陶器も、九州出身の方の提案により、面白い柄が作られるようになっていきます。地域の特色は残しつつ、よその文化も取り入れることの大切さを痛感しています。

B しょうご 将吾

地域の特殊性は急速に失われつつあります。大峰村も東京も、今はインターネットで結ばれた同じ地図の一部なのです。SNSで拡散される情報に触れ、昔の価値観やしきたりは次第に姿を消してゆきます。古い世代の人には抵抗があるでしょうが、貴重な教育の機会ととらえるべきです。都会の人に早く追いつき、共通の視点を持つことで、対等に付き合えるようになりたいものです。

C みや 美哉

深い森に囲まれた大峰村は、長く閉鎖された社会であった。そのため、固有の生活様式が今も残っている。純粹だからこそ価値があるのであり、それを現代化の波から守ることは我々の務めである。都市から移住してくる人を排除するつもりはないが、村の文化に謙虚な気持ちで溶け込もうとしない人にはこの村で暮らす資格がない。相手の望まない「進化」を強いることは文化の侵略である。

D りゅうたろう 竜太郎

僕は、出身地で人を分類することに疑問を抱いています。僕らの思想が地域社会に支配されていたのは過去の話です。情報社会になった今、過疎の村にしながら革新的な考え方をする人も、その逆もあります。都会から来た人と話す時、お互いの文化的背景を意識する必要があるのでしょうか。みんな、結局は一人の人間です。自信を持ち、固定観念を捨てて、真摯に交流することを提案します。

問題 21–32

12の部分 (21–32) を埋めるのに適切なもの1つを下の答え (A、B、C、D) の中から選び、マークシートに記入しなさい。

フリーターの生活と将来への不安

私は、27歳の現在まで、正規の社員として働いたことがありません。週に何日かアルバイトをしながら生活する、...21...フリーターです。大した収入にはならない...22...、家族と同居しているので家賃を払う必要がなく、生活費は最低限で済みます。

高校を卒業した時、大学に進学しない同級生はみんな就職しました。私が同じ道を選ばなかったのには理由が二つあります。...23...、推理作家になりたいという希望があったことです。小説家として成功するのが容易でないことは分かっていましたが、...24...夢を追いかけたかったのです。

もうひとつの理由は、銀行に勤める父が生活を犠牲にして働くのを見ながら育ったことです。夜遅くまで長時間の勤務である...25...、休暇もなかなかとれず、週末出勤もまれではありません。興味の持てる職務...26...話は別ですが、生計を立てるためだけに仕事に縛られたくはないと思ったのです。

しかし、最近、自分の生き方に疑問を持つようになりました。このままフリーターを続けていると、あとになって後悔するのでは...27...と不安です。...28...今は両親とも健在なので甘えていられますが、将来、私も自立しなければなりません。今の収入では、ろくに貯金もできないので、自分の家を購入することなど夢のまた夢です。

それに、年齢を重ねる...29...、良い条件で就職するのが困難になります。どうせいつかは就職するのであれば、まだ若い...30...決意するべきなのかもしれません。

作家になる夢をあきらめたわけではありませんが、将来、結婚して家族を養うことを考えると、金銭面で暮らしを安定させた...31...いいのでしょう。ただ、今の暮らしが気楽...32...、未来に向けて責任を負うのはもう少し延期したいという誘惑も感じるのです。

問題 33-40

それぞれの質問 (33-40) について、正しい答え (A、B、C、D) を1つ選び、マークシートに記入しなさい。

いころこ
居来湖を守ろう！

北海道^{しほろ}支幌高原の居来湖。この静かな湖が熱い論争の焦点となっている。水中のプランクトンが豊富なため、透明度はそれほどでもないが、空の青さを映した時の、宝石のようなキラキラした緑の水面ゆえに「宝池」^{たからいけ}とも呼ばれ、その神秘的な姿は多くの人をひきつけている。

支幌高原は、かつては国立公園の一部として中央政府の管理下にあったが、4年前に独立した自然公園に指定された。自然公園の整備は所在する都道府県、この場合は北海道の責任であり、国からの補助金が途絶えたのを受けて、地元の支幌町では、資金不足にともなう生態系への悪影響が懸念されている。

その例となるのが居来湖の周囲に生える木、ニセツバキだ。小型の渡り鳥、ピリカウソが枝に巣を作ることで知られ、冬につける真っ赤な実はえさになる。木数は安定しているが、環境変化には敏感で、葉は茂っても実が実らなくなるので、このままでは依存しているほうが絶滅に至る恐れがあるという。

実は、居来湖を見下ろす丘の上に有料の観測所を建てる計画がある。開発会社の話では、湖岸に作れば目の前で自然の美が鑑賞できるが、その分、観光開発の影響がさらに深刻になることに配慮したのだという。しかし、計画には道路の建設も含まれており、自然保護団体は神経を尖らせている。

「支幌自然の友」^{かのう}の加納さんは、「自然保護の財源作りは口実なのでしょう」と推測する。「これまで観光客の数が制限されてきましたが、これを機に完全に門を開き、湖を収益化したいとは思えません。その結果、商品の質が下がって、いずれ事業が成り立たなくなることには気づいていないのです。ただ、今は、研究や保護をしたくても資金がない状態です。確かに自然には手をつけないことが望ましいのですが、お金がないから守れないという悪循環を断つことは容易ではありません。もし、誰かに『危機に直面している野生生物を放置するのか』と問われれば、『適度な介入もやむをえない』と答えざるをえません。」

「ヒメシャラ保護の会」の南さんの見方は少し異なる。「自然と人間とが友達同士として共存できるなら、それが望ましいのですが、人間には、この親友に接近すればするほどかえって傷つけてしまう傾向があります。友人がたとえ困っていても、自力で立ち直る力を信じ、距離を置くことが本当の友情でしょう。」

二つの団体では、共同で「居来湖を守ろう！」というサイトを立ち上げたばかりだ。来週から募金が始まり、活動資金にあてられるが、関連商品の販売は考えておらず、ピリカウソのさえずる声流るだけだ。そこには、素晴らしい環境を脅かすことなく、ただ想像の中で味わってほしいという願いがこめられている。

BLANK PAGE

Permission to reproduce items where third-party owned material protected by copyright is included has been sought and cleared where possible. Every reasonable effort has been made by the publisher (Cambridge University Press & Assessment) to trace copyright holders, but if any items requiring clearance have unwittingly been included, the publisher will be pleased to make amends at the earliest possible opportunity.

Cambridge International Education is the name of our awarding body and a part of Cambridge University Press & Assessment, which is a department of the University of Cambridge.